

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第5区分

【発行日】令和6年11月7日(2024.11.7)

【公開番号】特開2024-15246(P2024-15246A)

【公開日】令和6年2月1日(2024.2.1)

【年通号数】公開公報(特許)2024-020

【出願番号】特願2023-206411(P2023-206411)

【国際特許分類】

B 6 0 N 2/90(2018.01)

10

A 4 7 C 7/62(2006.01)

A 4 7 C 7/14(2006.01)

A 4 7 C 7/40(2006.01)

【F I】

B 6 0 N 2/90

A 4 7 C 7/62 Z

A 4 7 C 7/14

A 4 7 C 7/40

【手続補正書】

20

【提出日】令和6年10月28日(2024.10.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

着座部及び背凭れを有する姿勢判定装置であって、

前記着座部及び前記背凭れに設けられ、着座者の姿勢パターンに関する指標値を計測するための計測器と、

該計測器によって計測された計測値と前記着座者の前記姿勢パターンとの関係を示す姿勢情報を記憶する記憶部と、

前記計測器の計測結果に基づいて前記着座者の座位腰椎湾曲量を算出する制御部と、
前記着座部及び前記背凭れに設けられ、前記着座者の背中、臀部及び脚部を揉ねつ又は押圧するエアセルと、

該エアセルの膨らみ状態を調整するアクチュエータと、を備え、

前記制御部は、前記計測値から前記着座者の前記姿勢パターンを判定し、

前記制御部は、前記アクチュエータを制御して、前記着座者の前記姿勢パターンに基づいて前記エアセルの膨らみ状態を前記アクチュエータに調整させることを特徴とする姿勢判定装置。

【請求項2】

前記制御部は、前記着座者の前記姿勢パターンが猫背であると判定した場合、前記エアセルの膨らみ状態を前記アクチュエータに調整させて、前記着座者の臀部又は脚部を揉ねつすることを特徴とする請求項1に記載の姿勢判定装置。

【請求項3】

前記制御部は、前記着座者の前記姿勢パターンが反り背傾向であると判定した場合、前記エアセルの膨らみ状態を前記アクチュエータに調整させて、前記着座者の肩を押圧することを特徴とする請求項2に記載の姿勢判定装置。

【請求項4】

40

50

前記エアセルの膨らみを調整して前記着座者の骨盤を固定したうえで、前記着座者を揉ねつ又は押圧すること特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の姿勢判定装置。

【請求項 5】

前記エアセルを支持するフレームを備えることを特徴とする請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の指定判定装置。

【請求項 6】

前記アクチュエータは、ヒータを備え、

前記アクチュエータは、前記エアセルの膨らみを調整する際、前記ヒータにより温めた空気を前記エアセルに送ることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか一項に記載の姿勢判定装置。

10

【請求項 7】

前記アクチュエータは、揉ねつする際、前記エアセルを振動させることを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれか一項に記載の姿勢判定装置。

【請求項 8】

前記計測器は、前記着座者の姿勢の変動をリアルタイムで計測し、

前記制御部は、前記姿勢の変動に基づいて前記着座者の疲労状態を予測し、前記エアセルを動作させることを特徴とする請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の姿勢判定装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

前記課題は、本発明の姿勢判定装置によれば、着座部及び背凭れを有する姿勢判定装置が、前記着座部及び前記背凭れに設けられ、着座者の姿勢パターンに関する指標値を計測するための計測器と、該計測器によって計測された計測値と前記着座者の前記姿勢パターンとの関係を示す姿勢情報を記憶する記憶部と、前記計測器の計測結果に基づいて前記着座者の座位腰椎湾曲量を算出する制御部と、前記着座部及び前記背凭れに設けられ、前記着座者の背中、臀部及び脚部を揉ねつ又は押圧するエアセルと、該エアセルの膨らみ状態を調整するアクチュエータと、を備え、前記制御部は、前記計測値から前記着座者の前記姿勢パターンを判定し、前記制御部は、前記アクチュエータを制御して、前記着座者の前記姿勢パターンに基づいて前記エアセルの膨らみ状態を前記アクチュエータに調整されることにより解決される。

30

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

また、上記の姿勢判定装置において、前記制御部は、前記着座者の前記姿勢パターンが猫背であると判定した場合、前記エアセルの膨らみ状態を前記アクチュエータに調整させて、前記着座者の臀部又は脚部を揉ねつするとよい。

40

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

また、上記の姿勢判定装置において、前記制御部は、前記着座者の前記姿勢パターンが反り背傾向であると判定した場合、前記エアセルの膨らみ状態を前記アクチュエータに調

50

整させて、前記着座者の肩を押圧するとよい。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

また、上記の姿勢判定装置において、前記エアセルの膨らみを調整して前記着座者の骨盤を固定したうえで、前記着座者を揉ねつ又は押圧するとよい。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

また、上記の姿勢判定装置において、前記エアセルを支持するフレームを備えるとよい。

また、上記の姿勢判定装置において、前記アクチュエータは、ヒータを備え、前記アクチュエータは、前記エアセルの膨らみを調整する際、前記ヒータにより温めた空気を前記エアセルに送るとよい。

また、上記の姿勢判定装置において、前記アクチュエータは、揉ねつする際、前記エアセルを振動させるとよい。

また、上記の姿勢判定装置において、前記アクチュエータは、前記計測器は、前記着座者の姿勢の変動をリアルタイムで計測し、前記制御部は、前記姿勢の変動に基づいて前記着座者の疲労状態を予測し、前記エアセルを動作させるとよい。

10

20

30

40

50